

畜産と

てつくる知床の農業を
考える会の主催。有畜
複合型畑作を実践する
興農ファーム(町内古
多糠)の本田広一代表
が、農場で育てたナタ

知床の

「有機」実

ることが必要。有機農
業など多様な形態があ
る中で、地域がどうあ
るべきかを農業者が話
し合っている」と話
した。(長谷川裕紀)

食と農 地域に元気

管内でフォーラム

鮭節を羅臼名物に

札幌の料理長「地元から発信を」

鮭節を、どのように地域活性化に結びつけていくか話し合われたフォーラム



【羅臼】のりとも朝倉商店(朝倉幸文社長)の鮭節について、開発者や地元の漁業、観光関係者が語る「羅臼サケ節」イカスフォーラムが26日、町公民館で開かれた。利用価値の低い原料から生まれ変わった特産品について多方面から検討した。

(本庄彩芳)

町の主催。同社が2010年2月から販売している鮭節は、産卵のため川を遡上した脂身の少ないフナザケが原料。この日はまず、鮭節のフルコースを提供している札幌・定山溪の章月グランドホテルの藤井修一料理長が

元からどんどん発信してほしい」と呼び掛けた。

開発に携わった道立総合研究機構食品加工研究センターの阿部茂主査は、成分のグラフを示し「甘み、うまみが濃いのが特徴」と解説。また汎用性が高く、さまざまな加工食品に利用できる」とした。

後半は脇紀美夫町長らが登壇し、パネルディスカッション。田中郁子羅臼漁協女性部長が「鮭節を使った料理コンテストを開きたい」とアイデアを披露するなど、町の活性化に向けた鮭節の活用策について、活発に意見を交わした。

古切手の詰まった段ボールを前に引き取り手を探す西館局長



根室港郵便局

めたのは3年前。同局周辺には水産加工をはじめ企業が多く、窓口に回収ボックスを置いたところ、局を利用する企業の社員らが封書

せられている。西「有効活用してくろにお渡ししたい

新しい市森林整備計画案

環境保全強化し 4月から実施へ



【根室】新年度からの新しい市森林整備計画の案が26日、市役所で開かれた計画策定作業チームの会合で明らかになった。牧の内ダム周辺などを「水資源保全ゾーン」、珍しい野鳥が生息する風運湖周辺などを「生物多様性ゾーン」などとして保全規制を強化したのが特徴。4月1日の実施を予定している。

森林計画は国の全国

森林計画、道の地域森林計画に基づいて、市町村が策定する。今回の計画の期間は今年4月から2022年3月末までの10年間。会合には市と根室振興局、根釧東部森林管理署の担当者と市内の民有林所有者らが出席。石垣雅敏副市長は「森林の持つ多面的な機能が地球温暖化防止などに大きな役割を持っている」とあいさつした。

会議に

では、国機能区分、市内の、水、土、人との共生、利用の3、源、山、生活環境、文化機能、等生産の、化、水源、牧の内、近は「水、保